

□議員名：水津 治

1 公共下水道について

論点	未整備地区の市民に整備計画を示すことはできないのか。
回答	市全域のうち、整備すべき区域として全体計画区域（2,845ha）を設定し、このうち、おおむね5～7年で整備する区域として事業計画を定め、順次整備を進めている。整備済みの区域は29年3月31日現在で1,050haである。現在国からの交付金が要求の6割～7割で、既存施設の修繕等に多額の予算がかかっており、具体的な整備計画は示せない状況である。

論点	浄化槽設置整備補助金の交付状況は。
回答	平成28年度は、5人槽42基、7人槽27基、10人槽3基の合計72基で、補助金額は2,676万6,000円である。平成29年10月31日現在で5人槽25基、7人槽17基、10人槽1基合計が43基で、補助金額1,588万6,000円である。

2 有害鳥獣対策について

論点	駆除の報奨金の金額を上げることはできないか。また、その財源は。
回答	有害鳥獣捕獲事業補助金として、財源は市費で、単価は1頭当たりイノシシが2,500円、鹿が5,000円である。鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業交付金として、財源は国費で、単価はイノシシ、鹿とも成獣で1頭当たり8,000円、幼獣が1頭当たり1,000円である。猟友会の方に、捕獲・駆除に対する一助となればと考えている。

論点	捕獲狩猟従事者の育成・確保に資格取得助成金を設けてはどうか。
回答	狩猟者の高齢化が進む中、新たな担い手を育成・確保することは、農林産物の被害軽減・防止のために有効な施策と考える。山口県の活用状況や他市の状況を踏まえながら、効果的な有害鳥獣対策に努めたいと考えている。